

2015年(平成27年) 第413号

1月号 月刊毎月
1日発行

東京都江戸川区船堀2-8-9-302

〒134-0091

TEL & FAX03-5676-4580

年間購読料 8,400円(前払・税込)

郵便振替口座 00130-2-35424

編集人 岡田兼定

発行 株式会社クロススマート研究所

ライフスタイルマーケティング紙

ファッション雑貨

買う立場、売る立場になって
商品をお届けする。

株式会社 **マリモクワコ**

東京都江戸川区臨海町3-6-2

小松ウオール臨海町ビル4階

〒134-8586 TEL:03(3877)1234

大阪市のコート・ソレイユは壁面オブジェ等を出品



11月下旬に開催された「IFFTインテリアライフスタイル リビング」展(東京ビッグサイト)は、家具・インテリア商品の見本市だが、アート・クラフト・デザイン志向の雑貨商品と並んで、地域からの発信が目立つ会場風景だった。

名古屋地域からは「クリエイティブナゴヤ」として9社がグループ出展。この中では、(株)上山商店がcucuriとして、有松鳴海絞りの伝統の手



IFFTインテリアライフスタイル リビング展 地域からの発信が目立つ

海外からもファッションナブルなインテリア商品が

仕事を生かしたプロダクトが紹介されている。糸を巻いてゆく手法で作り出される布の表面の表情が大変にバラエティに富んでいて(例えば棘のようだが触れると柔らかい表面効果)楽しかった。職人ごとに柄が違っているというのも面白い。もともと着物系の技術というが、新しい流通を求めて「cucuri」というブランドを立ち上げたそうだ。

香川県の高松市からは、地元の家具メーカー6社が、小豆島のオリブの間伐材を使った雑貨(指リング、スプーン、食器からスプーンなどまで)を、オリブの木は固くて丈夫で水はけも良い一方、殺菌・抗菌効果があり、さらに使えばほどにその人の色が出るという。

京都からは、秀峰窯が、

エクセレントカンパニーのセメント袋状の収納具



やはり表面効果が、ビスケットや「プチプチ」の表面のような「うつつしわ」という陶器シリーズを。ロク口ではなく、ネンドでビスケット(北陸製菓とコラボ)の表面を写し取ってから焼くそうだ。

このほか、岐阜県郡上市のミサト工業がおしゃれでカラフルな「ヌーク」という毛抜きを。岐阜県からは艶金工業が「草木染(残り染めという)」グッズを。京東都は「青」をベースにしたグッズ(袋物ほか)を。マスキングテープのカモ井加工紙のmt(倉敷)プーラスも人気。ほか、東京の地場産品を中心に「シユロ」が出品。

デザイナー系
デザイナー系の出品では、浅草ものづくり工房のナスタチウムが花柄などカラフルにデザインされたビッグスキンのパブリッシュ。スリッパとして、踵を踏んでも良い履物。

1000年の歴史があるという、ヒマラヤのミツマタ種(和紙の原形)の「ロクタペーパー」を使ったラップシールドはRaxa社が。100柄を取りそろえているが、質感は和に近いながら、異国情緒にあふれた商品でもある。

輸入品では、ほか、エクセレントカンパニーがドイ

イデア(株)のスタッキングできる名刺ボックス



ツからセメント袋状の収納品を。ドイツらしい堅牢さとエコ志向を兼ね備えた商品で、丸の内キッテの直営店「フリーパーク」でも良く売れているそうだ。

フェアトレード商品で、缶のタップをつなげてバッグにしているのは福市商店。

関西からは、イデア(株)が、スタッキングできる名刺ボックス。海外から人気という。

大阪市のコート・ソレイユは壁面オブジェや、フランスの彫刻家ジャコモツティの人物像のような置物を。壁面オブジェは帽子を掛けたり、写真を飾っておける実用性も兼ね備えている。

オフィス向けでは、青山にお店がある業務用品のマチヨリテが出展。オフィスのコード収納を提案しているのは(株)三協リールの「soraca」。

キッズ関係では、ヒロコーポレーションがブナ、漆、タモを使った木のおもちゃ。自然素材そのものの色を楽しめる。別に段ボール用のシールも展開。

(株)オーブンワールドでは、カナダのスリースプラウツというブランドのキッズ部屋用の楽しい収納用品を。カナダには楽しい動物柄商品が多い。